44

○日支事變ト各國ノ論評

(1) 支那

△獨逸ノ滿洲國承認ニ抗議

二十六日ノ英漢字紙ハ二十五日漢口電トシテ、獨逸ノ滿洲國承認ニ對シ外交部カラ獨逸本國及駐支大使ニ向ツテ、獨逸カ中華民國東北四省内ノ所謂「滿洲國」ヲ承認シタノハ、中國政府ノ極メテ遺憾トスル所デ、世界各國ハ僞組織不承認ノ原則ヲ堅持シ、米國モ之ヲ確認シタ。獨支國交ハ親睦ノ關係デ、中國人民ハ獨逸年來ノ發展ニ對シ同情ヲ得テ、獨逸政府及人民カ中國ニ發生シタ事態ニ對シテモ、同樣ノ同情的態度ヲ執ルコトヲ希望シタニモ拘ラス不幸ニシテ「既成事實」ヲ過分ニ重視シテ事實カ發生シタ環境及關係國ノ權利ヲ忽カニシ、國際關係擾亂ノ危險ヲ招イタカラ抗議セサルヲ得ヌトノ趣旨ノ抗議文ヲ提出シタト報道シタ。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

△民主國家ヲ糾合シテ對抗

日獨伊「ファッシズム」國家ノ大同團結カ成ツタ今日、支那ハ民主國家ヲ糾合シテ對抗セネハナラヌ（二十二日華僑日報）

△日本援助テ支那ヲ蘇聯ニ向ハス

獨逸ノ滿洲國承認及日支紛爭調停ハ、日本ノ武力ヲ蓄ヘ、アハヨクハ支那モ引入レテ蘇聯ニ向ハセヨウトノ魂膽テアル（二十二日珠江日報）

△支那市場カラ排斥サレル獨逸

支那ヲ裏切リ親日政策ニ豹變シタ獨逸ハ軈テ支那市場カラ排斥セラレヨウ（二十二日朝報）

△獨逸品ヲ不買セヨ

廿四日大美晩報發刊ハ獨逸ノ滿洲國承認ニ關スル投書ヲ掲載シタカ、右ハ徹頭徹尾「反共」ヲ罵リ、獨逸ノ支那ニ對スル不信、日本ニ對スル援助ヲ怨ミ、支那ノ唯一ノ方法ハ經濟絶交ノ實行タケテアル。

支那人ハ本日ヨリ直ニ獨逸品ヲ賣買セス、獨逸ニ便宜ヲ供與セス、獨逸官民ト合作スル勿レト述ヘタ。

△支那ヲ蘇聯ニ追込ム日本ノ行動

獨逸カ日支事變ニ關シ嚴正中立ノ態度ヲ棄テテ日本ノ側ニ投シタコトハ、共産主義ト飽迄戰ハントスル獨逸ノ決心ニ基クコトハ明カテアルカ、獨逸ハ勿論日本、伊太利モ、日本ノ行動ハ却テ支那ヲ蘇聯ノ腕ニ追込ンテ行ク事實ヲ悟ラナイモノテアル。日本軍ノ占據地域ニ於テハ或ハ共産主義ヲ抑ヘルコトカ出來ヤウカ、日本カ支那全土ヲ占據セヌ限リ支那ノ廣大ナ地域カ共産化スル危險カアル（二十二日ノース・チヤイナ・デイリー・ニユース紙）

△滿洲回復ヲ忘レヨ、平和ハ來ラン

滿洲國ノ成立ハ今ヤ既成ノ事實テ、獨逸ノ承認ハ現實ノ認識ニ基クモノテアル、之ハ蔣介石ヲ初メ國民政府ニ取リ非常ナ失望テアラウカ、若シ支那國民カ滿洲國ヲ失地トシテ之ヲ回復スル考ヲ棄テルナラハ、極東問題ノ解決ハ非常ニ容易ニナルテアラウ（二十二日上海タイムス紙）

△蘇支親善ノ夜會開催

二十四日漢字紙ハ、支那發行機ノ羅灣空襲ヲ大キク取扱ヒ（華美晚報ハ前夜號外ヲ發行「漢口「ロイテル」電テ、宋子文ハ二十三日香港カラ漢口ニ飛來シタガ、一般ニ宋ノ赴漢ニハ重大ナ政治的意味カアルトシ、或ハ國民政府部內ノ要職ニ就クタラウト傳ヘラレ、又宋一家ノ仲違ノ噂モ解消シタト報シタ。

尙漢口U．P．電ハ、二十三日夜蘇聯大使館テ赤衞軍二十周記念ノ大夜會カ開レ「オレルスキー」大使ハ新任陸軍武官「ドラクスヴイン」ト共ニ始メテ姿ヲ現ハシ、外交團ハ勿論支那側ハ宋美齡孔祥熙、王寵惠及馮玉祥（蔣介石代理）等出席、其ノ他蘇聯軍事顧問ノ主ナル者並ニ周恩來等ノ共產黨員多數見エ蘇支親善ノ盛大ナ光景ヲ呈シタ旨報シタ。

△「カー」新駐支大使ノ談話

英國新大使「カー」ハ二十四日着滬シタカ、新聞會見ニ於テ、英國商民ノ在支權益擁護ニハ萬全ヲ盡ス覺悟テアルコト、自分カ日

支和平案ヲ齎シタトノ噂ハ事實テナイコト、「イーデン」ノ辭職ハ歐洲問題ニ由來シ、極東問題ニハ大シタ影響ハナイタラウコト、英米ノ協調ハ英國議會テ說明サレタ通リテアルコト等ヲ述ヘタ由テアル。

△新大使ノ健全ナ認識ヲ望ム

二十五日「ノース・チヤイナ・デーリー・ニユース」紙ハ新大使着任ニ當リ普通ノ大使更迭ノ時ト異リ、多數ノ英國在留民カ熱心ニ出迎ヘタコトハ新大使ニ對スル期待カ大キナコトヲ示スモノト述ヘ「チヤイナ・プレス」紙ハ吾々ノ新大使ニ望ム所ハ、支那カ獨立ノ國家トシテ生存スル權利ヲ有スルコトヲ了解セラレルコトテアルト述ヘ、叉上海「タイムス」紙ハ新大使カ極東ノ形勢ニ付現實ニ基ク健全ナ認識ヲ得テ、本國政府ノ政策決定ニ資スルコトヲ望ム。日支ノ關係ハ日支兩國自身ノ決定ニ委ネルコトカ正シイ。外國ノ在支權益擁護ハ日支ノ論爭ヲ此ノ上紛糾サセルコトテナクテ、ソノ解決ノ一端ニ寄與スルニアル。支那ニ同情スル餘リ大局ヲ

ヲ誤ルノハ不可テ、英國ノ極東ニ於ケル任務ハ正ニ其ノ權益保全テナケレハナラヌ。右ハ將ニ來ラントスル極東大勢ノ大變化ト兩立サセルコトハ不可能テアルマイト論シタ。

(2) 米國

△支那日本ヲ毆リ返ス

二十四日ノ「ニューヨーク・タイムス」紙ハ「支那毆リ返ス」ト題シ左ノ如ク論シテ居ル。

支那機カ臺灣ヲ爆撃シタトノコトタカ、之ニ依ツテ觀ルト支那政府ハ北支五省及中支ノ三省ヲ失ツタニ拘ラス、國民ト一致協力シテ日本カ疲レテ亞細亞征覇ノ野心ヲ棄テル樣ニナル迄戰ヒヲ續ケル決心ラシイ。

△臺灣空襲ハ露人飛行士

昨今「サンフランシスコ」新聞ハ獨墺問題、獨逸外交政策ニ關スル「ヒトラー」今次ノ聲明、「イーデン」外相辭職等歐洲方面ノ

問題ヲ賑ヒ、日支問題ニ關スル記事ハ幾分閉却セラレテ居タカ、二十三日支那機ノ臺灣空襲ハ一般ニ異常ノ「センセーション」ヲ與ヘタラシク各紙共本件ハ日支事變ノ新局面ヲ齎クモノトシテ、右ニ關スル東京及上海發通信ヲ大々的ニ掲ケ、同空襲特ニ翌二十四日ノ九州方面ニ於ケル第二回空襲豫報ハ日本國民ニ多大ノ衝動ヲ與ヘ、異常ノ緊張ヲ示シ居ルコト（二十五日東京發A・P）支那側ヨリ得タ情報トシテ、支那軍部ハ臺灣空襲ノ成功ニ勢付キ、今後日本本土モ空襲スルト意氣込ンテ居ルコト（二十五日上海發I・N・S）今次空襲敢行ノ理由ニ付テハ種々ノ觀測カ行ハレテ居ルカ、上海方面外人筋テハ、支那側ハ多分外國ノ視聽ヲ歐洲問題ヨリ極東問題ニ轉換サセヨウトシタカ、或ハ更ニ國内ノ抗日意識ヲ煽ラント試ミタカモ知レヌト觀察シテ居ル者モアルコト（二十四日上海發U・P）等ヲ報シタ。尚本件ニ關シ未タ注目スヘキ社説ハ出テ居ナイカ、二十五日「サンフランシスコ・ニュース」紙上「トムソン」ハ論評ヲ掲ケ、支那側ヨリ見レハ今回ノ空襲ハ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

大成功テ、コレハ日本本土ニモ進擊テキルコトヲ世界ニ公示シタモノテ、支那側ハ一度成功シタ以上再ヒ之ヲ斷行テキル、又少クトモ台灣進擊ニ關スル限リ、同樣ノ考ヲ抱イテ居ルラシイ。確實ナ筋ノ情報ニ依レハ支那ニハ斯ル遠征カテキル優秀機ト飛行士モ少ク、支那側ノ傭外人飛行士ハ露人ヲ除ケハ極メテ少クテ、米人飛行士ハ恐ラク五名ヲ超エヌタラウトノコトテ、今回ノ空襲ニ參加シタ飛行士ノ大部分ハ蘇聯人タラウト傳ヘラレテイルト論シタ。

尚當地各紙ハ二十五日東京通信トシテ同日總動員法案ヲ繞リ政黨側カ政府ノ態度說明振ニ對シ激昂シ、議場ハ混亂ニ陷ツテ遂ニ議會ハ一時休會ノ已ムナキニ至ツタト報シ、如何ニモ國內ニ內輪揉ヲ生シテ居ル樣ナ印象ヲ與ヘテヰル。

△對侵略國ノ英米協調ハ不可能

今次英外相ノ辭任ニ伴フ英外交政策ノ轉換ニ依リ、侵略國ニ對抗スル意味ノ英米協調ハ實現ノ可能性カナクナツタカ、今年度ノ年次海軍演習ニ關スル海軍省ノ發表ニ依レハ、右演習地域ハ南ハ「サモア」マテニ及ンテ居ル譯テ、布哇ノ西南地域ヲ演習地域トシタコトハ未タ曾テ見ヌ所テアル。本件演習ニ關スル計畫ハ英外相ノ辭任前ニ樹立セラレタモノテアルカ、「サモア」ハ米國本土ノ海軍根據地カラ新嘉坡ニ至ル線上ニ位シ、對日作戰ニハ何等價値ナク、唯英米海軍間ノ海軍協力カアル場合タケニ戰略上價値カアル地點テアルコトハ注意ヲ要スル（二十三日クリスチヤン。サイエンス。モニター紙ワシントン特電）

△英國ノ對獨伊妥協策ト蘇聯

現在英國トシテハ獨伊ト妥協シテ世界ニ散在スル其ノ既得權益ノ保持ニ努メルカ、又ハ千戈ニ訴ヘルカ、何レカヲ選ハネハナラスカ、英國ハ目下其ノ何レヲモ希望セス。恐ラク今後何等カノ彌縫策ヲ講シテ時日ヲ遷延サセ、其ノ間世界文明ノ擁護トイフ美辭ヲ

以テ米國ヲ說伏セ・アハ好クハ直接行動ニ米國ヲ引込マウト圖ラウ。極東問題ニ關シテモ斯ル遷延策ヲ執リ、米國カ痺ヲ切ラシテ自國權益擁護ノ爲自ラ干戈ヲ搆テ起ツコトヲ望ンテ居ルカ、今回「ヒトラー」カ投シタ問題ハ畢竟歐洲ノ問題ニ過キス、又極東問題トテ英國ニハ重大ナ利害カアルカ、米國トシテハ何等干戈ニ訴ヘル理由ノナイコトハ、米國民カ銘記シテ置クヘキ所テアル。尙今次「ヒトラー」ノ聲明ニ對シ蘇聯カ全然沈默ヲ守ツテ居ルノハ注目ニ値スル。歐洲ニ於テモ將又日米間ニモ戰爭發生ノ危機ヲ孕ンテ居ル此ノ際、蘇聯トシテハ目下日獨ト戰フ意思カナイタメテ、若シ戰爭カ勃發シテ世界資本主義國ノ崩壞ヲ來セハ、ソレハ彼等ノ思フ壺ニ嵌ルモノト言ヘル（二十六日サンフランシスコ。エキザミナー紙ポーク。カーター評）

△硬軟兩派カ根本對立スル日本

大衆ハ支那ニ於ケル日本ノ軍事行動ヲ一致シテ支持シテ居ルカ、陸海軍ヤ文官ノ間ニハ未タニ意見ノ相違カアル樣タ。勿論日本ノ强硬派ト穩和派トハ、今ノ所戰爭ヲ早ク終ラセネハナラヌト言フ

點テハ意見カ一致シテ居ルカ、其ノ方法ニ關シテハ、强硬派ハ假令第三國ノ權益ヲ侵シテモ構ハス猛攻撃シ、場合ニ依ツテハ宣戰布告モ敢行セヨト言ヒ、穩和派ハ「ロボツト」政府ト講和スルコトヲ望ンテ居ル樣テアル（二十三日クリスチヤン。サイエンス。モニター紙）

△國家總動員法案ノ行方

軍部及官僚カラ突付カレタ國家總動員法案ハ近ク議會ニ提出サレルトノコトタカ、之カ實施サレタラ戰時及事變ノアル時ニハ、商工業、金融、勞働等ノ總テノ國民活動カ完全ニ國家ノ支配ニ歸スルコトニナリ、更ニ新聞等ノ輿論機關モ政府ノ御用機關トナルタラウ。同法案ハ永イ間軍部ノ有力者カ提唱シテ居タモノテ、其ノ内容ハ何等驚クモノハナイカ、彼等ハ日支紛爭ノ繼續及日蘇戰爭勃發ノ可能ヲ說イテ國民ノ反對ヲ打壞サントシテ居ルカ、一方日本資本家ハ彼等ニ大キナ富ト力トヲ齎シタ近代產業組合ノ繼續ヲ圖ル爲ニ、政府ト交涉スル準備ヲシテ居リ、又民政黨モ之ニ參加シテ同法案ニ反對シテ居ル。而シテ彼等ノ論點ニ依レハ、同法案

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ハ日本憲法ト矛盾スルモノテ、國内ノ軋轢ヲ齎シ、就中今之ヲ無理ニ押付ケルト、内閣ト議會トノ協調カ破レルコトニナルタラウト言フノテアル。併シ此ノ論點テ軍部ト其ノ手先テアル官僚カ動カサレルコトニハナラヌテアラウ（二十一日ニユーヨーク。タイムス紙）

(3) フイリツピン

△米國極東政策ノ強化ヲ謳フ

数箇月前ニハ米國ノ極東政策ハ其ノ腑甲斐ナサヲ非難サレ居タカ最近頓ニ硬化シテ来タ。即チ上海租界ノ米國受持區域内ヘ日本兵ノ立入ヲ拒絶シ、又米國總領事ハ英人所有倉庫内ニアル米國ノ財産ヲ日本カ封印シタノニ對シ嚴重抗議シ、又「ハル」長官カ支那ニ於ケル米國人ノ生命財産ノ損害ヲ、日本ニ其ノ責任カアルト断シ、竝ニ米人ノ立退要求ヲ断乎拒絶シタ如キ其ノ例テアル。右ノ如キ強硬ナ態度ハ日本トノ戰爭ヲ誘發スルト惧レル向モアルカ、

吾々ハ軟弱ナ態度コソ戰爭ニ導クモノト確信スル。

折柄米國巡洋艦三隻ノ來訪カアツテ、一八九八年以來ノ米海軍ノ極東熱中ヲ具現シタカ、之カ新嘉坡ヨリ歸米ノ道順トシテ寄港シタニモセヨ、時局柄心強イ次第テ、衷心ヨリ歡迎スル。

此ノ緊張シタ新政策ハ、變更又ハ緩和セラレサルヘキノミナラス「マクナツト」カ支那ノ戰場ヨリ白堊館ニ齎シタ報道ハ、右新政策ヲ更ニ力付ケルタラウ。尚「ハル」長官最近ノ通牒モ右報道ニ基クト言ツテモ意外テハアルマイ（二十八日マニラブユレチン紙）

○反蘇陰謀裁判ト各國ノ批評

(1)蘇聯

△反蘇陰謀團ノ豫審終了

二十三日「モスコー」新聞ハ、「ブハーリン」一派ノ右翼「トロツキスト・ブロツク」ノ反蘇陰謀ニ關スル豫審カ終了シテ三月二日公開裁判ヲ行フ旨發表シタ。要旨左ノ如シ。

右翼「トロツキスト・ブロツク」ハ外國ノ指令ニ基キ組織セラレ「スパイ」、有害行爲、逃亡、「テロ」、蘇聯軍隊ノ破壞、對蘇聯攻擊、敗北ヲ組織シ「ウクライナ」、白露、中亞諸國、「グルジヤ」「アルメニヤ」、「アゼルバイジヤン」及沿海州ヲ蘇聯ヨリ分離シ、社會主義制度ヲ顚覆シテ資本主義制度ヲ復舊セントスルモノデアル。右「ブロツク」ハ「トロツキスト」右翼「ジノヴイエフ」一派、「メンシエヴイク」、「エスエル」竝ニ前記地方ノ「ブルジヨア」民族主義者ヲ糾合シ、蘇聯分割ヲ條件ニ外國ノ武力援助ヲ得ントシタ。本陰謀團ノ首魁ハ「トロツキー」デ、